

東京・大阪にシステムを分散 障害対策に優れたシステムを構築

ホストからの基幹システムのダウンサイジングで、運用費を約 35%削減に成功

住商情報システム株式会社

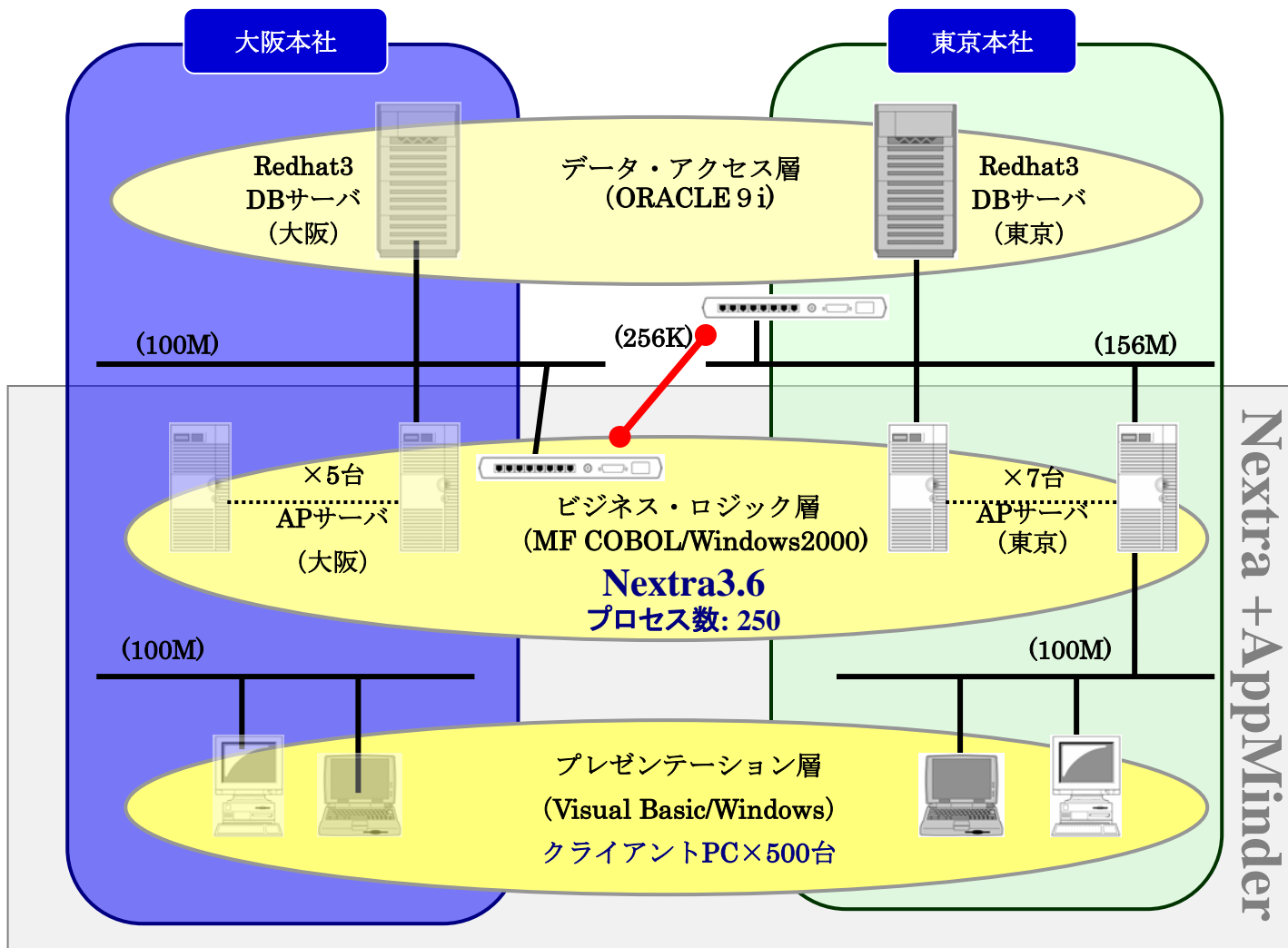
所在地◆東京都中央区

事業内容◆コンサルティングサービス、ソフトウェア開発、情報処理サービス、通信・ネットワークサービス、パッケージ・ソフト及びハードウェアの販売、システム・インテグレーション・サービス、ネットワーク・ソリューション・サービス、システムズ・マネジメント・サービス（アウトソーシングサービス）、IT教育サポート

なぜ Nextra か？

Nextra を使用することで、プログラマーはクライアントと AP サーバ間の通信ロジックを意識することなく開発できるため、開発生産性の向上を期待できた。また、ホストシステムからのダウンサイジングとして運用費の大幅削減を期待し、Nextra を採用した。

システム構成図



「ポイント」

①Nextra のシステム分散機能による高耐障害性、②ダウンサイジングによる運用費大幅削減、③操作性・レスポンスの大幅な向上

ユーザーコメント

住商情報システム株式会社

情報システム部情報システム課 浦井 聡氏

「Seina21 を開発するにあたって、Nextra の RPC 自動生成機能を利用し、分散物理 3 層 C/S システムを実用化することを重要なコンセプトとしました。Nextra を使用して良かった点は、プログラマーがクライアントと AP サーバ間の通信ロジックを全く気にする必要が無く、生産性の向上が図ることができた点です。アプリケーション開発中に苦労した点は、各層間の文字コード（漢字コード）の違いを意識したプログラミングが必要であったことでした。開発されたアプリケーションに対して、エンドユーザからは、ホストシステムの時に比較して、レスポンス、操作性が大幅に向上したという評価を得ています。運用には、付属のアプリケーション監視ツール「AppMinder」を使用することにより、アプリケーションの自動運転が可能になりました。」

システム概要

基幹業務アプリケーション アプリケーション名：Seina21

基幹業務の生産性向上を目的に開発された。社内で使用され、基幹業務全般に使用されている。Seina21 は、見積、契約、注文、請求などの営業支援および、会計データ計上、入出金（回収／支払）、実績集計をカバーしている。

導入経過

1996 年 1 月：Seina21 本番稼動

2005 年 6 月：Nextra3.6 へバージョンアップ

導入効果

見積から採算計画、実績集計、代金回収までの状況をリアルタイムに一元化電子伝票および電子認証による認証事務の迅速化と実務性の向上を実現できた。また、ホストシステムから運用費用を約 35%削減することに成功した。

今後の課題

現在のビジネスロジック（AP 層）の変更無しに、インスパイア製 GateWay モジュールを使用し、プレゼンテーション層の WEB 化を検討中。